6-1-3 冷戦の開始と植民地の解放

国際連合の誕生



*ポスター昭和27-20「国連週間 この人たちは何を見守っているのでしょう」

解説

1945 (昭和20) 年10月, 連合国は, 二度の世界大戦への反省から, 国際連合 (国連) を作りました。

日本でも、1947 (昭和22) 年に日本国際連合協会が作られ、国連加盟へ向けての草の根運動が開始されました。サンフランシスコ平和条約の前文には、日本が加盟を希望し、国連憲章を守り、かつ世界人権宣言の目的を実現する旨が盛り込まれましたが、ソ連との間に条約調印がなされなかったため、加盟は実現しませんでした。その後、1956 (昭和31) 年の日ソ共同宣言によりソ連との国交が回復したことを受けて、加盟が実現し国際社会に復帰しました。

左の写真は、1951 (昭和26) 年10月18日~24日の国連週間に合わせて山口県文化広報課が作成したポスターで、山口県にも日本国連協会の支部を作ろうと呼びかけています。翌年7月、日本国際連合協会山口県本部が設立され、事務局は県庁広報課内(現、国際課内)に置かれ、会長には田中龍夫知事が就任しました。



*上の写真は1952(昭和27)年7月発行の「日本国際連合協会山口県本 部資料」(行政資料 50各団56)です。規約案や事業計画案などが掲 載されています。

